

さいふくじ

# 西福寺のタブノキ

昭和 47 年 3 月 9 日 八潮市指定記念物（天然記念物）

●八潮市大字南後谷 868 番地（西福寺）



西福寺門脇のタブノキは常緑高木で、埼玉県東部地区でも最大といわれている。高さ 15 メートル以上におよび、幹の太さは 4 メートル 50 センチ、根元の周囲は約 8 メートルもある。樹齢はおよそ 500 年と推定されている。

この木は昔から「タブノキが先か寺が先か」といわれるくらい樹齢が話題になる開山記念樹である。西福寺の開創は定かではないが、明治 12 年の『社寺明細帳』は「嘉吉三年」(1443)と記す。根元には首なしの弘法大師が埋められているとされ、信仰されてきた。クスノキ科のタブノキ（イヌグス）であることから「西福寺のタブノキ」と愛称されている。

◎公開の有無：常時公開

◎交通案内

- ・八潮駅北口からバス（柳之宮経由草加駅東口行）「後谷住宅前」下車徒歩 1 分



本図は電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成したものです。